

社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	家島明彦 (いえしま あきひこ)	所属	京都大学 (教育学研究科)
研究集会等名称	マンガ心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 15名 (うち認定心理士 3名) 非会員 7名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p><b>★ウェブサイトの構築</b> 研究会の基盤整備として、独自ドメインを取得し、サーバーをレンタルして、オンライン上にマンガ心理学研究会のウェブサイトを構築した。ウェブサイトは国際的に活用されるよう、日本語と英語で用意した。成果として、今回構築されたウェブサイトを通じて今後マンガ心理学の情報を積極的に発信していくことが可能になった。また実際、ウェブサイトを通じて国内外から数件の問い合わせがあった。現在はイタリア語ページができ、ドイツ語ページも現在準備中である。将来計画としては、今後もマルチ言語対応にしていくとともに、より一層コンテンツを充実させ、マンガ心理学の発展・普及に貢献していくつもりである。</p> <p><b>★研究集会の企画</b> 4月に申請していたにも拘らず、事務局の手違いから10月によりやく助成申請が認められた。そのため、年度内の学会にて研究会の名を冠する研究集会を開催することはできなかったが、来年度の日本心理学会第73回大会において以下のワークショップを企画し、採択された。これをもって助成から1年以内の研究集会としたい。</p> <p><b>マンガ心理学の展開(1)：認知心理学・教育心理学・感性心理学からのアプローチ</b></p> <p>企画者 マンガ心理学研究会 司会者 家島明彦 (京都大学) 菅村玄二 (関西大学) 話題提供者 菅谷 充 (マンガ家/早稲田大学) 話題提供者 玉田圭作 (慶應義塾大学) 話題提供者 雨宮俊彦 (関西大学) 指定討論者 中澤 潤 (千葉大学) 指定討論者 市川伸一 (東京大学)</p> <p><b>[企画趣旨]</b> 近年、マンガに関する心理学研究が注目を集め始めている。日本心理学会マンガ心理学研究会は心理学領域における様々なマンガに関する研究の知見を集約し、研究者の交流や情報の交換を促進することを目的として活動している。今後、様々な心理学領域の研究を紹介し、マンガへの心理学的アプローチを体系化していくつもりである。その第一弾として、今回は認知心理学・教育心理学・感性心理学からのアプローチを取り上げる。菅谷氏には認知心理学、玉田氏には教育心理学、雨宮氏には感性心理学の立場から話題提供をしていただく。中澤氏と市川氏には主に認知心理学・教育心理学の立場から研究発表へのコメントや今後の展開の可能性・方向性についてのコメントをしていただく。最後に、質疑応答と全体討論を行い、マンガへの認知/教育/感性心理学的アプローチについて参加者の方々と議論する。菅谷氏は『ゲームセンターあらし』で知られるマンガ家(すがやみつる)でもあるので、マンガ家の立場からも話題提供をしていただく。</p>		